

「加工食品輸出クラスター組成のための意見交換会（宮城県）」議事概要

日 時：令和6年2月2日（金）13:30～16:30

場 所：仙台商工会議所 7階大会議室

出席者：

【加工食品製造事業者】

（有）川口納豆、（株）GRA、（株）田中酒造店、（株）布施商店

【食品産業団体】

宮城県食品産業協議会、宮城県味噌醤油工業協同組合

【流通事業者】

カメイ（株）、日本通運（株）

【支援機関等】

（独）日本貿易振興機構（JETRO）、（独）中小企業基盤整備機構、
（株）日本政策金融公庫、（株）七十七銀行、アクセンチュア（株）

【行政】

宮城県、石巻市、農林水産省、東北農政局

【加工食品輸出クラスター組成に係る主な意見】

- ・ クラスターを組成した時点では、事業者間で輸出に係る経験値に差がある場合があるが、その差をクラスターの取組のなかで埋めていくことが重要。
- ・ クラスターの中で、クラスターの活動に意欲がある事業者と意欲のない事業者の差が明確に出てくる可能性がある。
- ・ クラスターの取組は、展示会への出展や商談会への参加といった単発での取組で終わらないようにしていくことが大事。
- ・ 個社での取引ではスポットだけの提案になるなど継続的な取引が難しい場合があるが、クラスターを組成すれば商品のバリエーションが増え、販売機会の増加や長期の取引につながることを期待できる。
- ・ クラスターにおいて、クラスター活動の方向性を決める事務局の存在は非常に重要になる。
- ・ 地域単位でクラスターを組成するのであれば、地域の中で信頼されている人が事務局を務めることが大事。